



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

夏暁に朝顔が目覚める文月です。

朝顔は千年以上前に薬草として日本に渡来しました。

鎌倉時代以降、観賞用として栽培されるようになり、
入谷の朝顔市で知られるように、特に江戸時代に隆盛でした。

朝顔からひと時の涼を得て、夏の風情を楽しみましょう。

皆様には、梅雨明け後の猛暑、熱中症にご注意ください。



<紙面から>

理事会・評議員会報告	・・・1ページ
平成27年度会計報告	・・・2ページ
北町デイ外食会・高齢デイうどん打ち	
みどりのわかフェ	・・・3ページ
お知らせ・リレーコラム	・・・4ページ

平成27年度 事業報告・決算報告 理事会 評議員会

平成28年6月1日に理事会、15日に評議員会を開催し、平成27年度の事業報告及び決算報告を行い、承認を得ました。

昨年度は、市の高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の施策体系を受け、「すべての市民が安心して生活を送れる」、「健康で活動的に暮らし続ける」、「低所得者の自立を支援する」、「福祉のレベルアップに寄与する」、「健全な組織運営の維持」を公社の基本課題として、第二期中長期事業計画に着手しました。

事業計画で重点事項とした4項目については、先ず、介護保険制度改正による介護報酬の引き下げに対して、稼働率の向上等に努め収支の相償を図りました。また、平成27年10月から実施された介護予防・日常生活支援総合事業の担い手である「いきいき支え合いヘルパー」の養成事業を受託し、新たな人材育成を開始しました。

在宅福祉サービスの新たな展開である「つながりサポート事業」を開始し、創業事業である有償在宅福祉サービスからの円滑な移行を進めました。

市から受託した生活困窮者自立相談支援事業、住宅確保給付金受付窓口業務は、市やハローワークと連携しながらご利用者に伴走しつつ包括的な相談支援を実施しました。

公社と市民社協の組織のあり方については、両者と市による検討委員会を設置し、他市の団体へのアンケートや視察も実施しながら、団体の現状、今後の役割、統合の利益等について検討しました。今後も、継続して議論を深めてまいります。その他の各事業についても、「住み慣れた所でいつまでも」と言う公社の理念に沿ってサービス提供いたしました。

決算については、介護報酬の減額、生活支援デイサービス委託料の廃止に対し、稼働率の向上等により収支相償を図りましたが、運営費補助の減額や有償在宅福祉サービス・権利擁護事業の新サービスへの移行業務等もあり、事業収支は前年度に比較すると悪化しました。

今年度も事業に精励し市民の皆様のお役に立ちたく存じます。

会計報告

本誌では簡略化した決算書の一部を掲載しております。詳細はホームページ上の平成27年度決算書及び決算参考資料をご覧ください

6月1日の理事会、15日の評議員会で承認され、平成27年度の決算が確定しました。
今後も、一層のサービス向上と財政の健全化に努めてまいります。

貸借対照表 (簡略)

平成28年03月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度からの増減
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金合計	52,253,131	▲ 23,571,389
(2) その他流動資産合計	81,250,995	12,651,978
流動資産合計	133,504,126	▲ 10,919,411
2. 固定資産		
(1) 基本財産合計	418,957,659	1,483,800
(2) 特定資産合計	618,013,887	74,687,732
(3) その他固定資産合計	92,832,700	▲ 15,770,666
固定資産合計	1,129,804,246	60,400,866
資産合計	1,263,308,372	49,481,455
II 負債の部		
1. 流動負債合計	65,134,867	▲ 20,736,611
2. 固定負債合計	78,908,115	0
負債合計	144,042,982	▲ 20,736,611
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産合計	418,957,659	1,483,800
2. 一般正味財産	700,307,731	68,734,266
正味財産合計	1,119,265,390	70,218,066
負債及び正味財産合計	1,263,308,372	49,481,455

正味財産増減計算書(簡略)

平成27年04月01日から平成28年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度からの増減
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益計	168,000	▲ 434,743
特定資産運用益計	1,504,436	▲ 1,076,894
事業収益計	595,502,603	▲ 4,067,987
受取補助金等計	75,475,042	▲ 15,971,686
受取寄付金計	96,721,507	96,671,507
雑収益計	4,246,074	▲ 45,760
経常収益計	773,617,662	75,074,437
(2) 経常費用		
事業費計	624,889,230	▲ 26,996,239
管理費計	94,170,248	9,386,846
経常費用計	719,059,478	▲ 17,609,393
評価損益等調整前		
当期経常増減額	54,558,184	92,683,830
評価損益等計	0	0
当期経常増減額	54,558,184	92,683,830
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益計	15,541,963	15,541,963
(2) 経常外費用計	1,365,881	▲ 227,319
当期経常外増減額	14,176,082	15,769,282
税引前当期	68,734,266	108,453,112
一般正味財産増減額	68,734,266	108,453,112
当期一般正味財産増減額	68,734,266	108,453,112
一般正味財産期首残高	631,573,465	▲ 39,718,846
一般正味財産期末残高	700,307,731	68,734,266
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	1,483,800	2,107,200
指定正味財産期首残高	417,473,859	▲ 623,400
指定正味財産期末残高	418,957,659	1,483,800
III 正味財産期末残高	1,119,265,390	70,218,066

役員名簿

(平成28年6月15日現在)

理事

理事長	萱場 和裕	
常務理事	福島 文昭	武蔵野市 参事 (派遣)
理事	安達 高之	(社福)東京家庭学校 理事長
理事	安藤 真洋	(社福)武蔵野 理事長
理事	大野 壽三枝	弁護士
理事	黒竹 光弘	(社福)とらいふ 理事長

評議員

評議員	渡部 敏夫	(社福)武蔵野市民社会福祉協議会 常務理事
評議員	鈴木 省悟	武蔵野市医師会 理事
評議員	水村 裕一	武蔵野市歯科医師会 副会長
評議員	江幡 五郎	(社福)親の家理事 施設長
評議員	岩岡 由美子	武蔵野市民生児童委員協議会 第一地区副会長
評議員	竹内 啓博	公認会計士 税理士

監事

監事	五十嵐 利光	(社福)東京老人ホーム 常務理事 (ホーム長)	監事	安田 大	税理士 社会保険労務士
----	--------	-------------------------	----	------	-------------

北町高齢者センター 外食会 《やさい食堂七福》



5月24日火曜日、薄暑の昼下がり、外食会を開催し、ご利用者26名、ボランティアさん2名、スタッフ7名、実習学生2名で保健センター前の《やさい食堂七福》へ出かけました。健脚のご利用者3名は徒歩で、その他の皆様はセンターのバスを使用しました。



テーブルにつくと、早速、楽しい女子トークの始まりです。

「お店の名前の通り、たくさんのお野菜が入っているわね」、「ひとつ、ふたつ、みつつ…トマトは野菜それとも果物?」、「フルーツトマトってあるじゃない。果物よ。きっと」、と会話も弾みます。

美味しい食事サービスで知られる北町センターですが、日頃とは違った雰囲気です。食が進み、ついつい食べ過ぎてしまう方も…。摂取カロリーをしっかりと消費して帰路に着きました。これからも創意工夫して、ご利用者に愛され、楽しめる「みんながいて やすらぎはぐくむ センター」を運営いたします。



高齢者総合センターデイサービス



手打ちうどんの会



6月11日に恒例のうどん打ちをしました。地域交流会でしたが、残念ながら近隣の方のご参加はありませんでした。それならば内輪で存分に楽しもう…と、「中国語を学ぶ手打ちうどんの会」にして大いに盛り上がりました。講師はチャン先生（スタッフの張）です。

チャン先生が手際良く小麦粉をこねる姿に歓声が上がりました。うどんは中国語で「メンティアオ」、美味しいは「ハオツイー」、おかわりは「ザイライ」。

満州育ちの98歳のMさんの本場の発音に、一同、感心しきりでした。食べやすいように薄く細く切ったうどんはあっという間に皆様の胃袋に収まり、「ハオツイー」「ザイライ」の声がフロアに響きました。次回、地域の皆様のご参加をお待ちしております。



みどりのわカフェ開店



高齢者総合センター在宅介護支援センターは毎月（8月、12月を除く）第4金曜日に家族介護教室みどりの輪を開催し、講座や茶話会の開催、情報提供などで家族介護を実践する方々を支援しています。その一環として、この6月24日に新たな試みとして「みどりのわカフェ」を開店しました。

お茶やコーヒーを飲みながら気軽にお話をして、人と人とのふれあいの中に介護のヒントを見出し、お互いに支え合うことなどを目標にしています。



当日は16名が参加され、ボランティアの伊藤真矢子さんのフルートの調べに耳を傾け、浜遊亭美波さんの消費者被害啓発落語「おばあちゃんの日」で身近な問題である悪質商法への心構えを学び、和やかに話の花が咲きました。今年度のカフェは10月28日、2月24日を予定しています。皆様のお越しをお待ち申し上げます。



会社からのお知らせ

老いたく講座

～尊厳ある老後の構築のために～

日時 7月29日(金)

13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室

内容 老いたくの基礎知識について

問合せ・申込 在宅サービス課後見係

☎ 23-1165

エンディングノート講座

～歩んだ道を記し、残された人に指針を～

日時 7月15日(金)

13時30分から15時

場所 福祉公社 1階会議室

内容 エンディングノートの書き方

問合せ・申込 在宅サービス課後見係

☎ 23-1165

《職員リレーコラム》 第26回 《こころ通わせる手書き文字》

地域包括支援センター 大久保 明香

私は手書きの文字が好きだ。人の書く文字には、その人となりや、その時の気持ちが現れるように感じられるからである。しかしながら、便利な世の中になり（平成生まれの私が言うのもおかしいが）私たちが目にする文字の大半は印刷された「整った」文字となってしまった。そうした文字は読みやすくはあるが、冷たい印象を受けることもある。

「手書きの文字に触れたい」そんな思いで少し前から文通を始めた。相手の文字が乱れていると「何かあったのだろうか」と案じ、嬉しい報告のときには文字が躍って見える。

このように、手書きの文字を見ると書き手側のあふれる感情や込めた思いがいつそう伝わってくるのだ。こちらが手紙を書くときは相手を思い浮かべ、気持ちを込めて丁寧に書くよう心掛けている。日常の業務での書類、支援の記録、残念ながらこのコラムでさえも手書きではないが、どんな文章も手書きのときと同じような心構えでしたためたい。

➡次回は ホームヘルプセンター 三木 明美



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成28年8月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165（総務課、在宅サービス課）

☎0422-23-2611（ホームヘルプセンター武蔵野）

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975（管理・社会活動センター）

☎0422-51-1974（在宅介護支援・補助器具センター）

☎0422-51-2933（デイサービスセンター）

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15（全て共通）

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>